

## 第 3 学ぶ喜びがあふれる文化の薫るまち

### 1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実

基本施策19 義務教育の充実	94
基本施策20 高校・大学・各種教育機関の充実	96

### 2 人が輝き文化の薫るまちづくりの推進

基本施策21 生涯学習の推進	98
基本施策22 市民スポーツの推進	100
基本施策23 文化芸術の振興	102
基本施策24 国際・国内交流の推進	104

# 19 義務教育の充実

## 現況と課題

高度情報化、少子高齢化などの社会の激しい変化の中で、持続可能な社会の形成に向け、課題を自ら見つけ主体的に解決しようとする能力の育成が学校教育に求められています。一方で、価値観の多様化やコミュニケーションなどの社会経験の不足を背景として、いじめや不登校などが深刻な課題として指摘されています。

このような中で、「確かな学力」の定着を図り、「豊かな心」を育むことが強く求められています。そのため、学校間の連携を強めるとともに、学校・家庭・地域社会が協働的に子ども

を支え育み、児童生徒が主体的に学びを進める授業改善が必要となります。また、豊かな人間の育成には、心の教育の充実を始め、道徳教育の更なる取組の強化が課題となります。

教育の充実を進める基盤として、教育施設・設備の充実は急務ですが、建築年度の古い校舎や屋内運動場が多い状況にあります。そのため、適正配置を考慮した上で、耐震化や老朽化対策を含む改築・改修を進め、安全が確保された教育環境を整備していく必要があります。

## 基本目標

国際的な視野で活躍することが求められる未来を担う児童生徒が、個性や能力をいかし、実社会で「生きる力」を育み、社会を支える「自

立」した人間になるための教育内容の充実と教育環境の整備を図ります。

## 関連する個別計画

- ・ 苫小牧市小・中学校施設整備計画

## 主要施策

### 1 地域・学校等が連携した教育の推進【教育委員会】

- (1) 「チーム学校」の充実に向け、地域とともに学校を運営するコミュニティ・スクールの設置を推進します。
- (2) 校種間の連携を充実させ、義務教育9年間が一貫・連続した教育内容となるよう取組を推進します。

### 2 教育内容の充実【教育委員会】

- (1) 授業改善の徹底した取組に向けて、教職員向けの指導資料の作成や実践的な研修講座を開設するなどして、確かな学力を育むための研究を推進します。
- (2) 国際理解や英語を中心としたコミュニケーションスキルの向上のため、体験的学習機会の拡充に努めます。
- (3) いじめや不登校問題の解決に向け、豊かな心を育む道徳教育の充実を図るとともに、児童生徒及び保護者の教育相談体制等の充実を図ります。
- (4) 学校図書館の充実により、確かな学力、豊かな心を育むほか、自主的・探求的な学習活動を促進します。

### 3 特別支援教育の充実【教育委員会】

- (1) 通級指導教室を拡充するなど、連続性のある多様な学びの場の用意を進めていきます。
- (2) それぞれの学びの場における体制整備を図ります。通常の学級においては、特別な支援を必要とする児童生徒の学習支援を行う特別支援教育支援員を配置し、特別支援学級においては、日常生活の介助を行う介添員を配置します。
- (3) 児童生徒の障がいの特性に応じた指導を行うために、教員の専門性を高める研修の充実を図るとともに、教育支援委員会等の関係機関と連携し、適切な教育的支援を行います。

### 4 施設・設備の充実【教育委員会】

- (1) 学校施設の耐震化や老朽化対策を目的とした改築・改修を進め、教育環境の向上に努めます。
- (2) 給食施設の整備及び給食内容を充実し、安全・安心な給食の提供に努めます。

## 主な事業

#### 【教育委員会】

- ・ 学力向上推進事業
- ・ 小・中学校学校図書館用図書整備事業
- ・ 第2学校給食共同調理場建替
- ・ いじめ不登校問題対策事業
- ・ 小・中学校施設整備事業

## 評価指標

指 標	基準値(基準時期)	目標値(目標時期)
「小学校・中学校において充実した教育が受けられること」への市民満足度(%)	67.8 (H28)	70.0 (H34)
学校施設の耐震化率(%)	92.3 (H29)	100 (H34)

※市民満足度とは：市民意識調査で「満足」「やや満足」「普通」と答えた人の割合

## 20 高校・大学・各種教育機関の充実

### 現況と課題

少子化が進み、中学卒業者が減少する中、教育水準の維持向上を図りつつ、生徒の多様なニーズや進路動向に対応するため、学校・学科の配置や規模の適正化が求められています。

大学や工業高等専門学校等については、地域社会の発展や地域で活躍する人材の育成を目指すとともに、より高度な専門知識と技術を享受し、人材の育成に努めています。

魅力あるまちづくりを進めるためにも、本市と高等教育機関との連携をより一層深めていくことが必要です。

### 基本目標

高等学校の教育水準の維持向上を図るとともに、経済的な理由から就学が困難な方にも教育が受けられるよう支援します。また、大学や工

業高等専門学校との連携を一層強化することにより、地域の活性化と魅力向上を図ります。

### 主要施策

#### 1 高等学校の充実【教育委員会】

(1) 私立高等学校における生徒活動の充実などのために必要な支援を行います。

#### 2 高等教育機関との連携【総合政策部、産業経済部】

(1) 各種高等教育機関と様々な分野で相互連携を促進します。

#### 3 育英制度などの充実【教育委員会】

(1) 就学における機会均等の確保と優れた人材を育成するため、育英制度などの充実に努めます。



## 主な事業

### 【教育委員会】

- ・ 私立高等学校等生徒活動費補助金
- ・ 苫小牧市育英会
- ・ 苫小牧市交通遺児育英会事務

## 評価指標

指 標	基準値(基準時期)	目標値(目標時期)
「高校・大学・専門学校など、高度な教育が受けられること」への市民満足度(%)	56.9 (H28)	60.0 (H34)

※市民満足度とは：市民意識調査で「満足」「やや満足」「普通」と答えた人の割合



## 基本策 21 生涯学習の推進

### 現況と課題

少子高齢化や情報社会の進展、地域社会の変容、経済のグローバル化による雇用環境の変化など、社会構造の急激な変化に伴い、地域課題も複雑さを増す中で、市民の学習ニーズが多様化・高度化しています。生涯学習は個人の人生を豊かにするものであるとともに、学習成果を地域づくりやまちづくりにいかすことにより、社会全体の発展を実現する基盤になるものと期

待されています。

これからの生涯学習は、生涯にわたってあらゆる機会、場所において学習することができ、その成果を適切にいかすことを目指し、「すべての世代が生き生きと活躍する学びの充実」に向けた生涯学習社会の実現とともに、社会や地域の様々な課題を解決するための取組を進めていく必要があります。

### 基本目標

市民一人ひとりの生涯にわたる学習意欲を高め、あらゆる機会、場所において学習することができ、豊かな心と自立の力を育て、その成果

を適切にいかすことのできる活力ある学びの環境づくりと、学びをいかした「人・つながり・環境」づくりに努めます。

### 関連する個別計画

- ・第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画
- ・苫小牧市図書館基本計画

### 主要施策

#### 1 自ら意欲的に学び、郷土を愛し創造する人づくり【教育委員会】

- (1) 市民一人ひとりのライフステージに応じた学ぶ機会の充実を図ります。

#### 2 相互に理解し支え合い、自己の力を発揮できるつながりづくり【教育委員会】

- (1) 学んだ経験や成果をいかす活動を奨励し推進します。
- (2) 学習グループや企業等との連携を強化し、協働に努めます。
- (3) 学んだ成果を地域コミュニティの形成や、未来への人材育成につなげる体制の拡充を支援します。

#### 3 活力を育み、ふれあいや語らいが深まる学びの環境づくり【教育委員会】

- (1) 学ぶ意欲に即応できる情報提供体制の充実により、市民の学習活動の支援に努めます。
- (2) 生涯学習関連施設の支援体制の整備や高等教育機関との連携に努め、学び合い、支え合い、高め合う環境づくりに努めます。
- (3) 多様な市民ニーズに応える図書資料や郷土資料の収集保存に努め、様々な社会環境の変化に適応する知識・情報の提供など図書館機能の整備拡充に努めます。
- (4) 青少年の科学に対する興味・関心を高めるため、宇宙ステーション「ミール」の展示事業を始め、各種科学体験事業などの充実努めます。



## 主な事業

### 【教育委員会】

- ・生涯学習推進事業
- ・赤ちゃん、絵本のとびら事業
- ・ナナカマド教室事業
- ・文化・スポーツ学校開放事業
- ・障がい者IT学習支援事業
- ・科学的知識普及事業

## 評価指標

指 標	基準値(基準時期)	目標値(目標時期)
「生涯を通して、様々な学習をする機会があること」への市民満足度(%)	64.2 (H28)	65.0 (H34)
出前講座実施回数(回)	329 (H28)	350 (H34)
各施設の生涯学習関連講座開設数(講座)	554 (H28)	600 (H34)
各施設の生涯学習関連講座受講者数(人)	12,128 (H28)	12,500 (H34)
図書館貸出資料数(千冊)	873 (H28)	930 (H34)
科学センター利用者数(人)	104,542 (H28)	105,000 (H34)

※市民満足度とは：市民意識調査で「満足」「やや満足」「普通」と答えた人の割合

### 現況と課題

全国で初めてスポーツ都市宣言を行ってから50年を経た本市では、これまで「市民皆スポーツ」を推進していくために、様々なスポーツイベントの企画、各種スポーツクラブや団体の支援を始め、多くの市民に夢や感動・勇気を与える競技スポーツの振興にも努めてきました。

また、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、興味に応じて、いつでも・どこでも・誰とでもスポーツに親しめるよう、各種スポーツ施設の

整備・充実を図ってきました。

しかし、既存施設の多くにおいて、建設からの年数が経過し、老朽化が目立ち始めていることから、施設の改修や補修のほか、器具の更新に向け、早期に施設整備計画を立て、対応する必要があります。さらに、スポーツ競技人口が近年減少してきていることから底辺拡大を図るための対策が必要です。

### 基本目標

市民の誰もがスポーツに親しむことができる生涯スポーツの普及・振興と技術向上を図るとともに、スポーツ施設の整備や有効利用、スポーツ競技人口の底辺拡大を目指します。また、

夏の冷涼な気候や交通の利便性をアピールし、各種スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致活動を支援していきます。

### 関連する個別計画

- ・ 苫小牧市スポーツ推進計画

### 主要施策

#### 1 生涯スポーツの充実【総合政策部】

- (1) 市民一人ひとりが健康で活力ある生活を目指し、性別や年代層に応じた様々な健康・体力づくりの事業を行います。
- (2) 「市民皆スポーツ」を推進するため、市民がスポーツに親しむ機会の拡大を図ります。

#### 2 競技スポーツの充実【総合政策部】

- (1) 競技力向上を目指すため、指導者の養成や、各種講習会や講演会を開催し、多くの市民に夢や感動・勇気を与える競技スポーツを推進します。

#### 3 スポーツ施設の整備と活用【総合政策部】

- (1) 市民スポーツの普及・振興と技術向上を図るため、サッカー場を始め既存のスポーツ施設の改修を計画的に実施し、また総合体育館の整備について武道場の在り方も含めて検討していきます。



#### 4 指導者の確保と養成【総合政策部】

- (1) 市民の各年齢層のニーズに合わせ、適切なスポーツ活動ができるよう指導・助言を行なう指導者の育成・活用と効果的な指導体制を整備します。

#### 5 国際、国内のスポーツ交流【総合政策部】

- (1) 各種スポーツ大会を積極的に誘致・開催するとともに、国際・国内のスポーツ交流の充実を図り、活力あるまちづくりを目指します。

#### 6 各種スポーツ大会や合宿の誘致【総合政策部】

- (1) 夏の冷涼な気候や交通の利便性などをPRし、各種スポーツの全国・全道大会や合宿の誘致活動を支援し、青少年を始め、様々な世代の競技レベルの向上に寄与します。

#### 7 総合型地域スポーツクラブ育成支援【総合政策部】

- (1) 地域におけるスポーツ活動の新たな基盤として、地域住民が主体的に運営するスポーツクラブを支援し、市民の継続的なスポーツ活動を推進します。

## 主な事業

### 【総合政策部】

- ・健康ウォーキング事業
- ・国際少年アイスホッケー中学生交流事業
- ・全国高等学校選抜アイスホッケー大会
- ・氷上スポーツ育成事業
- ・スポーツ合宿等助成金事業

## 評価指標

指 標	基準値(基準時期)	目標値(目標時期)
「スポーツやレクリエーションを身近で楽しめること」への市民満足度(%)	69.4 (H28)	74.0 (H34)
生涯スポーツ事業参加者数(千人)	250 (H27)	270 (H34)
競技スポーツ事業参加者数(千人)	29 (H27)	32 (H34)
スポーツ合宿受入数(件)	51 (H28)	100 (H34)

※市民満足度とは：市民意識調査で「満足」「やや満足」「普通」と答えた人の割合

## 基本策 23 文化芸術の振興

### 現況と課題

文化芸術は、人々の創造性や表現力を高め、ゆとりと潤いのある地域社会を形成する重要な役割を担っています。少子高齢化や情報化の進展する社会背景の中で、多様化する市民ニーズに対応し、心豊かに暮らしていくためのまちづくりを進めるには、これまで培われてきた多様な文化を保存・継承するとともに、文化芸術に接する機会の拡大や活動の支援、環境を整備す

ることなどが求められます。

（仮称）市民ホールについては、「（仮称）苫小牧市民ホール建設基本構想」や「（仮称）苫小牧市民ホール建設基本計画」を踏まえ、新しい複合施設が多くの市民に親しまれるよう幅広く市民の意見を聞きながら、建設に向けた準備を進めていくことが必要です。

### 基本目標

市民が文化芸術活動に親しむことができるような支援体制の整備を促進するとともに、次世代の文化芸術を支える人材育成や、文化芸術の発表及び鑑賞機会の充実などに努めます。また、歴史的な財産の保存・活用を図り、文化芸術の振興に努めます。

（仮称）市民ホールについては、親近感と愛着の持てる憩いのプラザ（公共の広場）として、市民にとってのサードプレイス（「自宅」や「職場・学校」とは別の新しい第三の居場所）となることを目指します。

### 関連する個別計画

- ・ 第2次苫小牧市民文化芸術振興推進計画
- ・ （仮称）苫小牧市民ホール建設基本計画
- ・ （仮称）苫小牧市民ホール建設基本構想

### 主要施策

#### 1 文化芸術活動の促進【教育委員会】

- (1) 文化芸術の振興に向け、小・中学生、青少年、高齢者、障がいのある方などを含む、全ての市民が文化芸術に触れる機会の充実や支援体制の整備などに努め、文化芸術に対する市民の意識高揚に努めます。

#### 2 人材の育成【教育委員会】

- (1) 次世代の文化芸術を担う創造性豊かな青少年の育成と、芸術家や優秀な指導者などの人材育成に努めます。
- (2) 文化芸術は人と人が交流することで広まり盛んになることから、市民参加イベントなど様々な場面において交流機会の拡充に努めます。

#### 3 文化芸術に触れる環境の整備と充実【教育委員会、市民生活部】

- (1) 文化施設が地域の文化芸術活動の拠点・発信基地としての役割を充分果たすように、機能の充実に努めます。

- (2) 常設展示内容の見直し、高齢者や障がいのある方、外国人に対応する環境の整備に努めます。
- (3) 博物・美術資料の収集保存・調査研究に努め、展示や各種事業を通して市民に還元するなど、知識・情報の発信に努めます。
- (4) (仮称)市民ホールについては、これまでの検討を踏まえた新たな複合施設としての整備に努めます。

#### 4 地域の歴史的文化遺産の保存と活用【教育委員会】

- (1) 文化の発展を理解する上で欠かせない歴史的な財産の保存・活用を図り、次の世代につなげていきます。

## 主な事業

### 【教育委員会】

- ・文化芸術振興事業
- ・美術博物館特別展・企画展示事業
- ・美術博物館祭事業
- ・文化財保存事業

### 【市民生活部】

- ・市民ホール整備事業

## 評価指標

指 標	基準値(基準時期)	目標値(目標時期)
「音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること」への市民満足度(%)	56.0 (H28)	60.0 (H34)
市主催鑑賞型事業入場率(%)	69.2 (H28)	75.0 (H34)
市主催文化芸術鑑賞事業の実施数(回)	5 (H28)	6 (H34)
市民文化祭参加人数(人)	5,633 (H28)	6,000 (H34)
美術博物館利用者数(人)	32,407(H25~H28平均)	32,500 (H34)

※市民満足度とは：市民意識調査で「満足」「やや満足」「普通」と答えた人の割合

## 現況と課題

ヒト、モノ、情報、サービスなど、あらゆるものが地域・国境を越え、行き交う現代社会において、市民一人ひとりが地域を理解するとともに、国内外の多様な文化を理解していくことは、ますます重要となります。

国際交流では、姉妹・友好都市であるニュージーランド・ネーピア市、中国・秦皇島市との交流を行っているほか、子どもたちが海外を経験する機会の創出に努めています。また、留学生を始めとする外国人住民との交流や、外国人住民への日本語講座の開設などを通じて、まちの国際化を進めています。今後も、市民や国際

交流関係団体と連携し、異文化への理解と多文化共生の取組を進めていく必要があります。

国内交流では、八王子市、日光市と姉妹都市の盟約を締結しており、全国でも珍しい三姉妹都市による交流を行っています。また、平成23年(2011年)には日光市、大洗町との観光パートナー都市協定を締結し、姉妹都市交流を契機とした新たな交流が広がっています。今後は、市民同士による交流の活性化が課題となっており、各分野において積極的に情報を発信していく必要があります。

## 基本目標

国籍や文化的背景に関わらず、市民一人ひとりが気軽に参加できる機会を提供することにより、国内外における交流を深めます。また、多様性を受け入れ、異なる文化を尊重できるよう

な意識の醸成を図っていくことにより、暮らしやすく心の通ったまちづくりを進めます。

## 主要施策

### 1 国際交流の推進【総合政策部】

- (1) 姉妹・友好都市との交流を継続し、地域に根ざした国際交流を推進します。
- (2) 姉妹・友好都市を始めとした諸外国との地域レベルの交流を進めるため、市民ボランティアの拡大や国際交流関係団体との連携を図ります。
- (3) 多くの市民が国際交流に関わるきっかけを作るため、外国人と気軽に交流できる機会を提供します。

### 2 多文化共生と異文化理解の推進【総合政策部】

- (1) 国際的な視野を持ち、地域で活躍できる人材を育成するため、子どもたちが外国の文化に触れる機会を提供します。
- (2) 外国人住民の地域への参加を促すため、日本語学習の実施や活躍できる機会を提供します。
- (3) 日々の暮らしや手続に関する相談窓口を国際交流サロンに設置し、外国人住民の暮らしを支えます。
- (4) 国籍や文化に関わらず、互いを尊重しながら暮らすことのできる意識の醸成に努めます。

### 3 国内交流の推進【総合政策部】

- (1) 姉妹都市である八王子市、日光市との交流について、教育、文化、スポーツ、産業などを通じ、相互の市民が参加できる交流を深めます。

## 主な事業

【総合政策部】

- ・ 国際友好都市交流事業
- ・ 国際化推進事業
- ・ こども国際交流事業
- ・ 国際交流経費

## 評価指標

指 標	基準値(基準時期)	目標値(目標時期)
市や国際交流関係団体等が実施する国際交流事業に参加したことの市民の割合(%)	－(H29)	15.0 (H34)
国際交流ボランティア登録者数(人)	125 (H28)	175 (H34)
国際交流サロン利用者数(人)	1,100 (H28)	1,500 (H34)



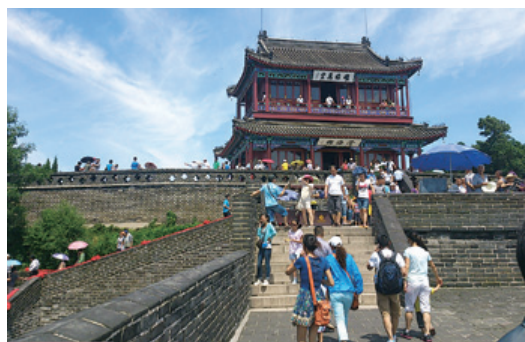
八王子市



日光市



ネーピア市



秦皇島市

